

Disaster Mitigation Research Building

監修：減災連携研究センター 教授 武村雅之

第12回特別企画展

特別企画展スペシャル
ギャラリートーク
各日13時30分～
減災館にて開催



■11月25日（水）
減災連携研究センター
教授 武村雅之
「東南海地震の被害の特徴と震度分布」

■12月2日（水）
減災連携研究センター
受託研究員 山本真一郎
「東南海地震の半田を歩く」



昭和東南海地震は昭和19年12月7日に南海トラフで発生した地震で、東海地方を中心に強い揺れと津波が発生しました。戦争中の当時、軍需工場がたくさんあった愛知県半田市では、動員学徒として全国から集められ働いていた学生が多数命を落としており、いまでもそうした方々を慰霊する碑が数多く残されています。一方で、半田市は歴史のあるまちであり、地震に耐えた名家や当時のまちなみの趣がいまでも残されています。今回の企画展は、昭和東南海地震を経験した半田のまちを、地震にまつわる碑や史跡・まちなみを見ながら歩く気分を味わっていただく展示となっています。まちあるきをお楽しみいただきながら、東南海地震について考えてみましょう。

【主催】名古屋大学減災連携研究センター
【共催】歴史地震研究会

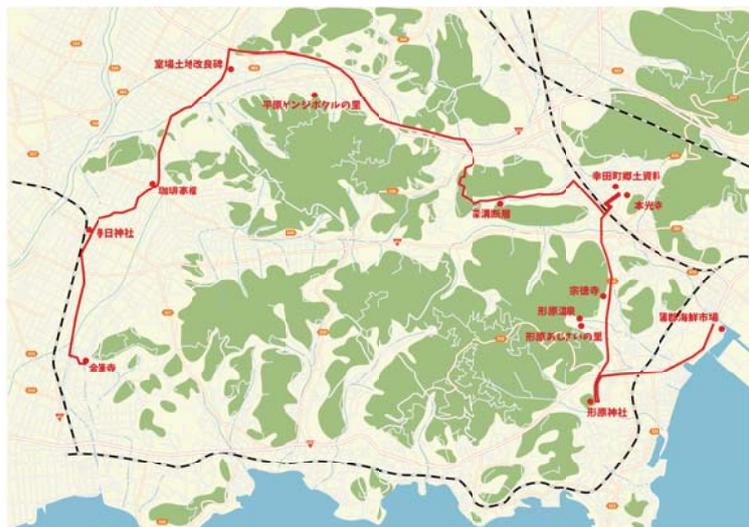


名古屋大学減災館

- 入場無料
- 開館時間：13:00～16:00（入場は閉館の30分前まで）
- 休館日：日・月曜日、祝日、第2・第4火曜日
（但し、学校行事の関係で休館日に変更になる場合がございます。最新の情報は、ホームページでご確認ください）



11.25 2015 水 → 2.6 2016 土



Disaster Mitigation Research Building

三河地震は昭和20年1月13日に発生した内陸型の地震で、愛知県安城市から幸田町、蒲郡市にかけてのびる横須賀-深溝断層と呼ばれる断層の活動によって引き起こされ、断層近くの地域や岡崎平野で被害が多く発生しました。幸田町や蒲郡市には、この深溝断層の活動の痕跡を見ることができる場所が残されています。また、被害の大きかった岡崎平野の安城市・碧南市・西尾市周辺には、数多くの慰霊碑が残されています。今回の企画展では、三河地震にまつわる碑や史跡を巡るドライブルートと、岡崎平野に数多く残されている慰霊碑の数々を紹介しています。三河地震を引き起こした横須賀-深溝断層と被害の大きかった地域の関係もわかる展示となっています。

特別企画展スペシャル
ギャラリートーク
各日13時30分～
減災館にて開催

■11月27日(金)
減災連携研究センター 准教授 都築充雄
「(仮)三河地震」

■12月10日(木)
減災連携研究センター 受託研究員 中井春香
「三河地震の特徴と石碑にみる復興の歴史」

2016年の特別企画展
スペシャルギャラリートークの予定は、
詳細が決定次第HPに掲載いたします。

■入場無料
■開館時間：13:00～16:00(入場は閉館の30分前まで)
■休館日：日・月曜日、祝日、第2・第4火曜日
(但し、学校行事の関係で休館日が変更になる場合がございます。最新の情報は、ホームページでご確認ください)

【主催】名古屋大学減災連携研究センター
【共催】歴史地震研究会

 **名古屋大学減災館**

名古屋市千種区不老町
TEL: 052-789-3468
<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/>

11.25 2015 水 → 2.6 2016 土

